

令和3年度 中野区立みなみの小学校学校経営方針

1 立案にあたり

(1) 今学校に求められていること

昨年度はコロナ禍のなか、社会全体が様々な見直しを求められた1年間であり、「もう昨年の2月以前には戻らない」と言われている。これは、学校においても同様である。今、求められているのは学校におけるニューノーマルの構築であり、10年先、20年先に続く、新たな価値、新たな学校教育を創り出すことである

【短期目標】 1～3か月

- ・感染防止対策の継続、無理のない対策を確実に続ける。
- ・学級経営の充実、安心でき居場所のある学級、先生と子供、子供同士の温かな関わり
- ・一人1台端末の管理・活用ルール作成と早期の配布

【中期目標】 3か月～1年

- ・全ての教科・領域で、課題解決的な学習を推進
- ・個に応じた課題設定や支援で分かるできる授業
- ・タブレット活用の推進
- ・新たな学校行事の実践
- ・ニューノーマルな学習モデルの中間報告
- ・道徳教育の充実
- ・特別活動等、子供の自治的な活動の充実
- ・いじめの未然防止、早期発見、早期解決
- ・生活指導上の問題は情報を共有したうえで、まずは学年で指導・支援、次は生活指導部→管理職という複層的で厚みのある組織対応を構築

【長期目標】 1～2年

- ・いじめ、不登校の根絶
- ・ICTを用いた学習と従来の学習活動を融合させた学習の実現
- ・全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現
- ・学びのスタイルを「知識習得型」から「価値創造・課題解決型」へ転換
- ・児童一人1台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善
- ・新たな学校行事や特色ある取組を実践し伝統にしてい

新たな学校教育の創造・ニューノーマルな学習モデルの実現

(2) 学校の使命（プロとして教育に携わるものとしての使命）

未来を担う（未来を託す）子供たちの可能性を高め、健やかな成長を支えること。

- 長引くコロナ禍の中のなか、子供の命や健康を守るのは最優先されるべきである。教員にとっても同様であり、自身とその家族、そして同僚の健康という基盤があってこそ、職務に専念し、教育活動の充実を図ることができる。
- 広義での学びはあらゆる場面に存在する。しかし、子供たちにとって、魅力あふれる教師との出会いや学校での学びは、その後の人生に大きな影響を与える。教職はそれだけ貴く、寄せられる期待も大きいことを再認識したい。

(3) 主体的な発想や行動

常に工夫が求められた一年間であったが、前例の無いなか、授業や行事、校務において様々なアイデアが生まれたことは、大きな成果であった。今年度も、後戻りできないことを論じるのではなく、今できる事、次の一手はどうするのか（すぐにすべきこと…、備え準備すること…）を職員一人一人が自分事として考え、学校の使命の実現に向け、主体的に関わり行動する。

2 学校経営方針

(1) 学校教育目標

社会構造や生活様式が急速に変化する「予測困難な時代」をたくましく生きる日本人として、持続可能な社会の実現に向けて、多様性を理解・尊重し、自ら課題を解決する力や豊かな人間性、社会性の基礎を培う。

○かしこい子 ○やさしい子 ○げんきな子

(2) 目指す児童像

- ・進んであいさつや返事ができる子
- ・目標をもち、努力を続ける子
- ・自他のよさを認め、自分も友達も大切にできる子

(3) 目指す教師像

- ・子供一人一人を大切にし、温かく熱意ある指導ができる教師
- ・日々向上心をもち、授業で勝負する教師
- ・子供の成長を喜び、教師としての職務にやりがいと誇りをもてる教師

(4) 目指す学校像

① みんな ② なかよく ③ み 未来に向かって ④ の 伸び行く学校

今年度も「みなみのプライド」の継続

- ◆子供たちの笑顔と喜びがあふれる活力ある学校…「分かる・できる喜び」「関わる喜び」「認められる喜び」「成長する喜び」が味わえる学校。みなみの小の子供であること、卒業生であることを誇れる学校。
- ◆保護者・地域が、信頼をよせる安心・安全な学校…安全管理が徹底され、いじめや不登校、体罰、サービス事故のない学校。統合で広がった地域の核として、誇れる学校。
- ◆教職員が、誇りをもって生き生きと働く学校…子供の成長を共に喜び、切磋琢磨し合える教職員集団が協働する学校。

(5) みなみの小で大切にしたい「3つのS」

スマイル	笑顔に勝るものなし。挨拶の励行。
スピーディー	敏速な対応、敏速な（効率的な）職務遂行。
セーフティー	安全への配慮、安全あつての信頼感。

(6) 教育目標の具現化に向けた3つの柱

① キャリア教育の充実

各教科・領域の指導を通し、将来自立した人間として社会参画、社会貢献することで自己実現を図れる力を育てる。10～20年後今ある職業の半数はAIにとってかわられる。今の子供の65%は、将来、今はない職業に就くとされているが、自ら課題を見付け解決する力、人間関係を形成していく力等は必ず役に立つ。

○学校教育研究指定校として一人1台タブレットの活用を推進し、児童に確かな学力を身に付ける。

○習熟度別学習、タブレットを活用した補充教室、みなみの診断テストによる基礎・基本の徹底。

○新学習指導要領の趣旨を生かした授業改善（タブレット端末を活用した課題解決的な学習、意見交流等対話的な学習、プログラミング教育、英語教育の充実）。

○家庭・地域や企業と連携した学習の推進。

○読書目標の設定による読書活動の充実。

○理科的自由研究の奨励による理科教育の充実。

○保幼小中連携の充実とキャリアパスポートの活用。

○家庭学習週間の設定による学習習慣の確立。

②人権教育の充実

529人いれば529通りの人格があり個性がある。多様性を理解し、互いを尊重できる力を育てる。性別や性差、国籍、子供や高齢者、障がいの有無にかかわらず一人一人が大切にされ自己実現できる社会を形成するための素地を養う。いじめや差別、感染症に関連する偏見や差別は絶対にあってはならない。

○児童を第一に考えた、親身であたたかな指導。

○縦割り班活動の充実。

○特別支援学級との交流及び共同学習の充実。

○校内委員会を核とした特別支援教育の推進。

○幼稚園・保育園、高齢者施設との交流、障がい者理解、異文化理解による心のバリアフリーの実現。

○さん付けの徹底。

○定期的な「いじめアンケート」による、いじめの未然防止と早期発見・早期対応。

○生命尊重の指導による、自他を大切にする心情・態度の育成。

○よさを認め、ほめる指導による、自己肯定感、自尊感情を高める指導。

③健康教育の充実

健やかな体、やさしさとたくましさ兼ね備えたしなやかな心を育てる。自他の存在を大切にするとともに、自らの心や体を見つめ、生涯にわたって健康な生活を送る資質や能力の基礎を培う。

○長なわ、短なわ、持久走の全校取組。

○体力目標の設定と自主取組期間の設定。

○オリンピック・パラリンピック教育の継続と充実。

○家庭と連携した「1日60分・週5日の運動習慣」。

○運動の質と量、思考判断、かかわりを大切にした体育学習の充実。

○健康づくり教室の開催、保健指導や保健学習の充実。

○地場農産物や食への理解による、食育の充実。

以上3点を重点に、新たな力が加わった教職員が協働し、みなみの小の特色ある教育活動である「地域と連携した教育活動」「神明学級との交流及び共同学習」「体育・健康学習」「読書活動」を通して、確かな学力、生命尊重の精神や自己肯定感・自己有用感を育む。保護者・地域との連携を大切にし、児童、教職員、保護者・地域が誇れる学校創りを進める。

(7)「みなみの小 親子ルール」の継続と推進

令和3年度 中野区立みなみの小学校学校経営方針（概要） 校長 吉羽 茂

目指す児童像

- 進んであいさつや返事ができる子
- 目標をもち、努力を続ける子
- 自他のよさを認め、自分も友達も大切にできる子

学校教育目標

社会構造や生活様式が急速に変化する「予測困難な時代」をたくましく生きる日本人とし、持続可能な社会の実現に向けて、多様性を理解・尊重し、自ら課題を解決する力や豊かな人間性、社会性の基礎を培う。

かしこい子 やさしい子 げんきな子

目指す教師像

- 子供一人一人を大切にし、温かく熱意ある指導ができる教師
- 日々向上心をもち、授業で勝負する教師
- 子供の成長を喜び、教師としての職務にやりがいと誇りをもてる教師

学校の使命（プロとして教育に携わるものとしての使命）

未来を担う（未来を託す）子供たちの可能性を高め、健やかな成長を支えること。

「みなみのプライド」

みんな

なかよく

目指す学校

みらいに向かって

のび行く学校

- ◆子供たちの笑顔と喜びがあふれ、活力ある誇れる学校…「分かる・できる喜び」「関わる喜び」「認められる喜び」「成長する喜び」が味わえる学校。
- ◆保護者・地域が信頼をよせ、誇れる安心・安全な学校…安全管理が徹底され、いじめや不登校、体罰、サービス事故のない学校。
- ◆教職員が誇りをもって生き生きと働く学校…子供の成長をともに喜び、切磋琢磨し合える教師集団が協働する学校。

教職員が大切にしたいこと

3つのS…スマイル（笑顔に勝るものなし、挨拶の励行）・スピーディー（敏速な対応）・セーフティー（安全あつての信頼感）

重要な課題

新たな学校教育の創造・ニューノーマルな学習モデルの実現

かしこい子～キャリア教育の充実～

- ①学校教育研究指定校として一人1台タブレットの活用を推進し、児童に確かな学力を定着。
- ②算数習熟度別指導の充実とみなみの教室の実施、東京ベーシックドリルの活用と「みなみの診断テスト」（9月・1月）による基礎・基本の徹底。
- ③新学習指導要領に基づく指導の充実（主体的・対話的な学習、地域や企業と連携した学習、プログラミング教育、職業に関わる学習）。
- ④家庭・地域や企業と連携した学習の推進。
- ⑤読書目標の設定（低学年…月7冊、高学年…月300ページ）と読書月間の実施。
- ⑥保幼小中連携教育の充実。
- ⑦理科学的自由研究の奨励による理科教育の充実。
- ⑧家庭学習週間の設定（7月）と家庭学習の手引きの配布による学習習慣の確立。

やさしい子～人権教育の充実～

- ①児童を第一に考えた、親身であたたかな指導による学年・学級づくり。
- ②異学年交流（たてわり班活動）の充実。
- ③特別支援学級と通常の学級との交流及び共同学習の充実。（行事や学習、給食や清掃）
- ④校内委員会を核とした特別支援教育の充実。
- ⑤幼稚園・保育園、高齢者施設との交流、障害者理解、異文化理解による心のバリアフリー。
- ⑥特別の教科 道徳の指導の充実と公開。（9月）
- ⑦さん付けの励行。
- ⑧定期的な「いじめアンケート」による、未然防止と早期発見・早期対応。
- ⑨生命尊重の指導、認め、ほめる指導による、自他を大切にする心情・態度、自己肯定感、自尊感情の育成。

げんきな子～健康教育の充実～

- ①長なわ、短なわ、持久走の全校取組、校内水泳記録会（6年）等の体育的活動の充実。
- ②体力目標と自主取組期間の設定による、体力向上への意欲付け。
- ③オリンピック・パラリンピック教育の継続と充実。今年度の重点は、スポーツ指向。
- ④家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」「1日60分・週5日の運動習慣」。
- ⑤運動の質と量、思考判断、かかわりを大切にした体育学習の充実。
- ⑥健康づくり教室、保健指導、保健学習、学校保健委員会、がん教育による健康指導の充実。
- ⑦地場農産物や食への理解による、食育の充実。